

序

当教育研究所では、平成5年度も恒例の事業となっている教育論文集の刊行を企画し、論説の部、実践記録の部に分けて原稿を募集しましたところ、論説の部に4編、実践記録の部に4編の応募をいただきました。

論説の部では、日頃の生徒指導における校内体制について、特に学級担任を支える校内体制の在り方についての提案を、また本市の三人の英語指導助手がそれぞれの立場から本市の英語教育並びに英語指導助手招致事業にかかわる感想、問題点、提案事項などについて述べております。関係者に是非ご一読いただき、さらに議論を深めていただけたら幸いです。

実践記録の部につきましては、学校教育関係者から、国語科における生きてはたらく表現の指導の在り方についての実践、社会科における社会的なものの見方や考え方を身につけさせるための指導の在り方についての実践、同じく社会科において子供の学習活動を中心に据えて主体的に学ぶ子供の育成を図ろうとした実践、高齢者福祉教育活動実践モデル校として学校をあげて取り組まれた様々な福祉活動の実践など、いずれも今日的な教育課題に真剣に取り組まれた力作であります。

以上、多くの学校教育関係者の方々から日頃の教育的思索や研究実践の成果を発表していただきましたが、これらの論文は、読者のみなさんの教育観を深める大きな契機となるに違いありません。したがって、ここに示された貴重な教育論文を、今後とも各教育現場における日々の実践に十分生かされることを期待いたします。

なお、今年度も、教育論文第1集から昨年度までに掲載された論文のテーマ及び執筆者一覧を付記しましたので、今後の研究の一助としてご活用いただけたら幸いです。

終わりに、論文をお寄せくださった研究者の方々をはじめ、関係の方々にお礼を申し上げますとともに、皆様のますますのご活躍を祈念して序といたします。

平成6年3月

足利市立教育研究所長

大塚晴雄